

◎環境省法のデータのみ使用

◎1施設当たり複数データある施設について、まず施設の算術平均値を算出し、各施設の算術平均値をさらに算術平均して全施設の平均を算出した。

また、1施設当たり複数データある施設について、まず施設の幾何平均値を算出し、各施設の幾何平均値をさらに幾何平均して全施設の平均を算出した。

◎定量下限値未満のデータについては、定量下限値を代入して平均値を求めた。その施設の測定データが全て定量下限値未満であった場合のみ、施設の平均も定量下限値未満とした。

■石炭火力発電所及び産業用石炭燃焼ボイラー

○表Ⅱ-1-11(P.12)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
集じん機+脱硫+脱硝	30	0.6	10	<0.1	1.1	1.8
集じん機+脱	31	0.8	4.4	0.2	1.2	1.1
その他	15	1.0	7.5	<0.1	1.7	1.9
合計	76	0.7	10	<0.1	1.3	1.6

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数値)
集じん機+脱硫+脱硝	30	0.6	10	<0.1	0.6	0.4
集じん機+脱	31	0.8	4.4	0.2	0.8	0.4
その他	15	1.0	7.5	<0.1	0.9	0.5
合計	76	0.7	10	<0.1	0.7	0.4

・表Ⅱ-1-11(P.12)

排ガス処理設備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )					幾何平均値	対数標準偏差(対数値)
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差		
集じん機+脱硫+脱硝	54	0.5	10	<0.1	1.1	1.7	0.5	0.5
集じん機+脱	49	0.9	6.3	<0.1	1.4	1.3	0.9	0.4
その他	31	1.0	7.5	<0.1	1.5	1.6	0.7	0.6
合計	134	0.7	10	<0.1	1.3	1.6	0.7	0.5

■非鉄(一次施設)

○表Ⅱ-2-9(P.23)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
銅	14	0.4	1.1	<0.1	0.4	0.3
亜鉛	4	0.9	35	0.3	9.4	15
全金属	18	0.4	35	<0.1	2.4	8.0

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数値)
銅	14	0.4	1.1	<0.1	0.4	0.2
亜鉛	4	0.7	35	0.3	1.4	0.8
全金属	18	0.4	35	<0.1	0.5	0.5

・表Ⅱ-2-9(P.23)

金属種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )					幾何平均値	対数標準偏差(対数値)
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差		
銅	38	0.3	1.2	<0.1	0.4	0.3	0.3	
亜鉛	20	0.7	39	<0.1	9.4	15	1.4	0.9
全金属	58	0.3	39	<0.1	3.5	9.8	0.5	0.7

■非鉄(二次施設)

○表Ⅱ-3-7(P.30)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
鉛	9	1.7	1400	<0.1	260	500
銅	5	11	150	0.4	62	70
亜鉛	12	20	390	0.2	85	120
金	2	3.2	6.2	0.1	3.2	3.0
全金属	28	8.8	1400	<0.1	130	310

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
鉛	9	1.7	1300	<0.1	3.9	1.5
銅	5	11	110	0.3	7.5	1.0
亜鉛	12	17	280	0.2	14	1.0
金	2	3.2	6.2	0.1	0.9	0.9
全金属	28	5.9	1300	<0.1	6.8	1.2

・表Ⅱ-3-7(P.30)

金属種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )						
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
鉛	46	1.6	2300	<0.1	230	510	3.5	1.5
銅	20	6.1	360	<0.1	68	120	6.1	1.2
亜鉛	49	15	1100	<0.1	90	170	13	1.1
金	6	0.1	6.2	<0.1	1.1	2.3	0.2	0.6
全金属	121	4.4	2300	<0.1	130	340	5.7	1.3

■産業廃棄物焼却炉

○表Ⅱ-4-1-10(P.45)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設 備の種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
BF+WS	8	0.7	380	<0.1	49	130
BF(+WS以外)	54	2.3	72	0.1	8.1	13
WS(+BF以外)	26	0.7	31	0.1	3.5	6.8
その他	12	5.0	34	0.3	10	12
合計	100	1.6	380	<0.1	10	39

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設 備の種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
BF+WS	8	0.7	380	<0.1	1.2	1.1
BF(+WS以外)	54	2.1	71	0.1	2.2	0.7
WS(+BF以外)	26	0.7	29	0.1	0.7	0.8
その他	12	4.3	34	0.3	3.3	0.7
合計	100	1.5	380	<0.1	1.7	0.8

・表Ⅱ-4-1-10(P.45)

排ガス処理設 備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )						
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
BF+WS	23	0.7	380	<0.1	18	77	0.8	0.8
BF(+WS以	211	2.3	87	<0.1	9.4	15	2.6	0.8
WS(+BF以外)	72	0.2	49	<0.1	3.4	8.4	0.5	0.8
その他	44	1.8	50	<0.2	9.5	14	2.5	0.8
合計	350	1.4	380	<0.1	8.7	24	1.7	0.8

■一般廃棄物焼却炉

○表Ⅱ-4-2-7(P.57)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
BF+WS	5	3.3	12	1.1	4.7	4.1
BF(+WS以外)	11	4.3	64	0.1	18	23
WS(+BF以外)	2	34	56	12	34	22
合計	18	4.6	64	0.1	16	21

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
BF+WS	5	3.2	6.6	1.1	2.6	0.3
BF(+WS以外)	11	3.4	61	0.1	5.3	0.8
WS(+BF以外)	2	31	52	11	23	0.3
合計	18	3.4	61	0.1	5.1	0.7

・表Ⅱ-4-2-7(P.57)

排ガス処理設備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )						
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
BF+WS	15	2.4	45	0.6	5.7	11	2.7	0.5
BF(+WS以外)	39	4.8	130	<0.1	17	27	4.4	0.9
WS(+BF以外)	10	30	97	6.0	34	27	23	0.4
合計	64	5.0	130	<0.1	17	25	5.1	0.8

■下水汚泥焼却炉

○表Ⅱ-4-3-7(P.64)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
BF+WS	5	2.0	6.9	<0.02	2.4	2.4
BF(+WS以外)	1	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
WS(+BF以外)	5	8.7	31	1.3	13	12
その他	1	15	15	15	15	0.0
合計	12	4.5	31	<0.02	8.2	9.2

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
BF+WS	5	1.8	6.7	<0.02	0.8	0.8
BF(+WS以外)	1	8.0	8.0	8.0	8.0	0.0
WS(+BF以外)	5	8.6	28	1.3	6.3	0.6
その他	1	14	14	14	14	0.0
合計	12	4.3	28	<0.02	3.0	0.8

・表Ⅱ-4-3-7(P.64)

排ガス処理設備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )						
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
BF+WS	10	1.9	8.8	<0.02	2.7	2.5	1.4	0.7
BF(+WS以外)	5	8.4	11	5.3	8.3	2.2	8.0	0.1
WS(+BF以外)	13	10	58	1.3	17	15	11	0.5
その他	5	14	17	12	15	2.0	14	0.1
合計	33	8.4	58	<0.02	11	11	5.9	0.6

■セメントクリンカー製造設備

○表Ⅱ-5-5(P.72)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

データ数(施設数と同じ)	中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
48	32	200	0.9	48	48

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

データ数(施設数と同じ)	中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数值)
48	31	200	0.9	27	0.5

・表Ⅱ-5-5(P.72)

データ数	中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均	対数標準偏差(対数值)
98	30	260	0.9	47	51	27	0.5

◎環境省法以外のデータのみ使用

◎1施設当たり複数データある施設について、まず施設の算術平均値を算出し、各施設の算術平均値をさらに算術平均して全施設の平均を算出した。

また、1施設当たり複数データある施設について、まず施設の幾何平均値を算出し、各施設の幾何平均値をさらに幾何平均して全施設の平均を算出した。

◎定量下限値未満のデータについては、定量下限値を代入して平均値を求めた。その施設の測定データが全て定量下限値未満であった場合のみ、施設の平均も定量下限値未満とした。

■石炭火力発電所及び産業用石炭燃焼ボイラー

○表Ⅱ-1-13(P.16)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
集じん機+脱硫+脱硝	49	0.8	5.7	0.2	1.3	1.3
集じん機+脱硫	24	1.0	5.6	0.2	1.5	1.4
その他	14	0.6	3.6	0.2	1.1	1.0
合計	87	0.9	5.7	0.2	1.3	1.3

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数)
集じん機+脱硫+脱硝	49	0.7	5.7	0.2	0.7	0.4
集じん機+脱硫	24	1.0	5.1	0.2	0.9	0.4
その他	14	0.6	3.6	0.2	0.7	0.4
合計	87	0.7	5.7	0.2	0.8	0.4

・表Ⅱ-1-13(P.16)

排ガス処理設備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )						
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均値	対数標準偏差(対数値)
集じん機+脱硫+脱硝	451	0.7	13	<0.1	1.1	1.3	0.7	0.4
集じん機+脱硫	88	1.1	7.6	0.1	1.5	1.4	1.0	0.4
その他	26	0.6	6.2	<0.2	1.5	1.7	0.8	0.5
合計	565	0.7	13	<0.1	1.2	1.3	0.7	0.4

■非鉄(一次施設)

○表Ⅱ-2-11(P.25)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
銅	2	2.4	3.6	1.2	2.4	1.2
亜鉛	2	4.8	9.2	0.4	4.8	4.4
全金属	4	2.4	9.2	0.4	3.6	3.4

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数)
銅	2	1.2	1.6	0.7	1.1	0.2
亜鉛	2	4.0	7.5	0.4	1.7	0.6
全金属	4	1.2	7.5	0.4	1.4	0.5

・表Ⅱ-2-11(P.25)

金属種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )						
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均値	対数標準偏差(対数値)
銅	29	1.0	18	<0.1	2.4	3.6	1.1	0.6
亜鉛	6	7.0	17	<0.4	7.7	5.8	4.6	0.5
全金属	35	1.8	18	<0.1	3.3	4.5	1.4	0.6

■非鉄(二次施設)

○表Ⅱ-3-8(P.35)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
鉛	3	520	1000	22	510	400
銅	3	150	430	58	210	160
亜鉛	5	250	740	3.1	250	270
金	1	16	-	-	-	-
全金属	12	200	1000	3.1	290	310

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

金属種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差 (対数)
鉛	3	60	490	22	86	0.6
銅	3	94	430	38	120	0.4
亜鉛	5	56	560	2.7	46	0.8
金	1	16	-	-	-	-
全金属	12	58	560	2.7	62	0.7

・表Ⅱ-3-8(P.35)

金属種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )					幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差		
鉛	10	520	2000	1.8	560	530	240	0.9
銅	6	82	430	14.0	150	150	77	0.5
亜鉛	48	210	1600	0.5	280	290	130	0.7
金	1	16	-	-	-	-	-	-
全金属	65	230	2000	0.5	310	350	130	0.7

■産業廃棄物焼却炉

○表Ⅱ-4-1-14(P.51)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設備 の種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
BF+WS	7	1.2	39	<0.1	9.6	15
BF(+WS以外)	28	1.7	51	<0.01	8.0	13
WS(+BF以外)	35	0.4	210	<0.04	25	56
その他	14	0.3	24	<0.04	2.8	6.0
合計	84	0.9	210	<0.01	14	38

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設備 の種類	データ数 (施設数と 同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均 値	対数標準 偏差(対数)
BF+WS	7	1.1	32	<0.1	1.3	0.9
BF(+WS以外)	28	1.5	51	<0.01	1.6	0.9
WS(+BF以外)	35	0.4	200	<0.04	1.0	1.1
その他	14	0.3	19	<0.04	0.5	0.8
合計	84	0.8	203	<0.01	1.0	1.0

・表Ⅱ-4-1-14(P.51)

排ガス処理設備 の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )					幾何平均 値	対数標準偏差 (対数値)
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差		
BF+WS	12	6.8	76	<0.1	18	22	3.6	1.0
BF(+WS以外)	51	1.5	51	<0.01	5.9	10	1.2	1.0
WS(+BF以外)	74	0.5	300	<0.02	41	74	1.5	1.3
その他	23	0.6	48	<0.04	6.9	13	1.1	0.9
合計	160	1.0	300	<0.01	23	54	1.4	1.2

■一般廃棄物焼却炉

○一般廃棄物の環境省法以外のデータは文献調査により入手した値であり、施設平均をとることができない。

・表Ⅱ-4-2-8(P.59)

排ガス処理設備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
BF+WS(注1)	19	18	0.1	30	14	13
BF+乾式処理(注2)	59	17	0.01	54	22	18
BF単独(注3)	16	2	0.2	24.2	6	8.4
上記以外(注4)	9	1.7	0.5	54.0	11	17

■下水污泥焼却炉

○表Ⅱ-4-3-8(P.67)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
BF+WS	13	7.7	43	<0.01	11	11
BF(+WS以外)	0	-	-	-	-	-
WS(+BF以外)	12	9.5	31	1.6	11	8.0
その他	0	-	-	-	-	-
合計	25	8.5	43	<0.01	11	9.7

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

排ガス処理設備の種類	データ数 (施設数と同じ)	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )				
		中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数)
BF+WS	13	7.7	43	<0.01	3.2	1.1
BF(+WS以外)	0	-	-	-	-	-
WS(+BF以外)	12	9.4	31	1.6	7.7	0.4
その他	0	-	-	-	-	-
合計	25	8.5	43	<0.01	4.9	0.8

・表Ⅱ-4-3-8(P.67)

排ガス処理設備の種類	データ数	全水銀濃度(μg/Nm <sup>3</sup> )					幾何平均値	対数標準偏差 (対数値)
		中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差		
BF+WS	21	8.6	43	<0.01	9.6	9.9	2.4	1.2
BF(+WS以外)	0	-	-	-	-	-	-	-
WS(+BF以外)	19	8.5	31	0.8	10	7.4	7.3	0.4
その他	0	-	-	-	-	-	-	-
合計	40	8.5	43	<0.01	9.9	8.8	4.1	0.9

■セメントクリンカー製造設備

○表Ⅱ-5-6(P.75)に対応する表

・施設の平均及び全施設の平均を算術平均でとった場合

データ数(施設数と同じ)	中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差
50	39	130	2.5	40	27

・表Ⅱ-5-6(P.75)

データ数	中央値	最大値	最小値	算術平均値	標準偏差	幾何平均	対数標準偏差(対数)
280	30	220	0.2	39	37	21	0.6

・施設の平均及び全施設の平均を幾何平均でとった場合

データ数(施設数と同じ)	中央値	最大値	最小値	幾何平均値	対数標準偏差(対数)
50	28	130	0.8	22	0.5